

# 令和4年度 赤穂市立塩屋小学校 学校関係者評価

学校名 赤穂市立塩屋小学校

## 1 本年度の学校経営方針

### (1) 教育目標

ともに学び、仲よく遊ぶ児童を育てる ～自ら考え、学び合い、志を高く～

### (2) 校訓

【明く】

【清く】

【強く】

#### めざす学校像

- 1 保護者、地域とともに歩む学校
- 2 安全・安心の保障された学校
- 3 環境が整備されたうるおいのある学校

#### めざす児童像

- 1 あいさつができ、友とわかり合う子
- 2 真剣なまなざしで学習にのぞむ子
- 3 健康で明るく元気に遊ぶ子

#### めざす授業像

- 1 児童全員が主体的に参加する授業
- 2 児童同士の関わり合い、学び合いがある授業
- 3 言語活動をとおして、伝え合う力を高める授業

#### 求める教師像

- 1 とことん児童に関わり続ける教師
- 2 常に授業の向上をめざす教師
- 3 児童の人権を大切にする教師

### (3) 学校経営の基盤とするもの

人権尊重の精神を基盤とし、安全・安心で、学びがい、応援しがい、働きがいのある学校をめざした学校経営を行う。

- ・児童のよさや可能性を伸長させ、自己肯定感や自己有用感を高揚させる指導の充実を図る。
- ・すべての児童に基礎・基本の徹底を図り、主体的に学び続けるための指導方法の工夫改善を図る。
- ・児童が安全で安心して生活できる校内体制整備と充実を図る。
- ・保護者・地域とともに歩む学校づくりを進める。
- ・すべての教職員が、職業人としての自己の成長を感じつつ、充実感を味わい、塩屋小の一員であることが誇りに思う「働きがいのある学校」をめざす。

### (4) 重点課題

#### ① 保護者・地域と連携した教育の推進

- ・保護者・地域住民の学校運営への参画
- ・学校評価、保護者アンケートの教育活動への反映
- ・ふるさと意識の醸成

#### ③ 配慮を要する児童への対応

- ・児童の実態と内面理解に基づいた指導と支援
- ・就労までを見据えた保護者との共通理解と関係機関連携
- ・常に「気かけ」「目をかける」意識

#### ⑤ 児童の規範意識・マナーの向上

- ・きまりを守ろうとする意識
- ・行儀・礼儀の心と公共の精神を高める指導
- ・相手を意識し、大切にすることを基盤とした言葉遣い

#### ⑦ 不登校の解消・いじめへの対応

- ・未然防止のための魅力ある学校づくりの取組
- ・早期発見・早期対応・組織としての対応
- ・家庭・関係機関・学校の情報連携と行動連携の強化

#### ② 学力向上への授業改善・授業力向上

- ・児童の学習意欲を喚起し、全員が主体的に参加できる授業づくり
- ・学び合いがあり考えが深まる授業づくり
- ・基礎学力を獲得できる授業づくり

#### ④ 特別支援教育の充実

- ・職員の理解と実践力の更なる向上
- ・校内指導・支援体制の確立
- ・関係機関との連携による支援体制と支援方法の研究・実践

#### ⑥ 危機管理意識・管理体制の確立

- ・安全配慮義務の徹底と対応マニュアルの見直し
- ・防災体制・防災意識と地域安全体制の確立
- ・食物アレルギーへの理解と対応の体制

#### ⑧ 学校組織力の向上・学校業務改善

- ・教育目標・重点課題の共有化
- ・職員の協働体制、成果の共有化
- ・学校業務の工夫改善
- (子どもと向き合う時間の確保、メンタルヘルスの保持増進)

### 【総合的な学校関係者評価】

・PTA本部として協力できることがあると思うので、いつでも伝えてほしい。引き続き、児童の健全な育成に向けて対応をよろしく願います。  
・コロナ禍で状況が激変し、子供達も混乱する中、丁寧な対応をいただいた。これからも無理のない範囲で子供達と関わり合ってしっかり見守ってもらえればと思う。  
・感染症対策で制限が多い中、先生方には子供達が充実した学校生活を送ることができるように様々な工夫や取り組みをしていただき感謝している。従来の紙の便りに加え、メールなどの活用でよりスムーズに連絡事項が伝達されるようになり、アンケートも回答しやすくなった。  
・他の学校園に比べて、自己評価が低いように思う。学校内の雰囲気は以前より明るく先生方のコミュニケーションがよくとれているのかなという印象である。  
・不登校や支援のいる家庭については、もう少し地域の人に頼ってもらいたいのではないかと感じる。  
・防災、その他においてもコロナ禍でできなかったことをこれからもっとしていけたらよいと思う。  
・子供達は地域の宝であるのでみんなで育て見守ってほしいと思う。  
・学校評価児童アンケートの結果がほとんどよいので、このままキープしてほしい。  
・高学年になると授業中子供達が生き生きとしている。(先生のおかげもあるが)落ち着いてしっかりと授業を受けていると思う。体験活動の機会を増やし、様々な関わりの中で成長してほしい。  
・児童が挨拶ができ、優しい気持ちで友達に接しようとする意識が見られる。コロナ禍でも児童の元気な姿が見られて安心した。(健康管理等、指導が良いと思った。)  
・通学路については、今後とも「安全」をお願いしたい。  
・「しおっ子だより」で学校の様子が分かり、助かっている。  
・塩屋小学校は子供達や親にとってとても環境の良い学校だと思う。自身も塩屋小学校の卒業生だが、今も昔も変わらない学校作りをされていて大変素晴らしいと感じる。この先もこのままの塩屋小学校で在り続けていける事を願っている。暫くするとコロナウイルスが第5類に移行される。そうなった時にマスク着用の見直し等があると思うが、子供達の間でトラブル等が起きないように指導してほしい。  
・保護者・地域が共に一体となって学校づくりを継続してほしい。不登校・いじめへの対応で常に気配り、目配りして情報を得て未然防止に取り組んでほしい。  
・コロナの中、先生方の児童達への教育指導に大変な苦勞、努力をされておられることに敬意を表したい。ただ、今後は今までできなかったPTA活動を復活させ、親の学校教育への参加を進めてほしい。また、校外での地域活動にも積極的に参加してもらい、地域の子供として活躍してもらいたい。私達も地域住民・育成推進委員として塩屋小の児童達と関わってほしい。  
・学校運営協議会にもなかなか出席できなかったが、「しおっ子だより」を読み、色々な活動ができるようになってよかったと思う。

【学校関係者評価】

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切ではない ×:適切ではない

2 自己評価結果 (A~D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観点 (実践の柱)	評価項目(学校・教師の取組)		評価資料等	達成状況	改善の方策
	評価指標及び目標値(期待される児童の姿)				
① 保護者・地域との連携	項目	児童の主体的な学びを尊重し、生涯学習社会を見据えた学校づくりに努めることができたか	児童アンケート 入学式	B	○児童アンケートの結果からも「学校に来ることが楽しい」と答えている児童が91.8%であった。しかし、「いいえ」と答えた児童もいることを念頭に置き全職員で共通理解し、安心で安全な学校づくりをしていく。
	指標	毎日楽しく学校に来ている	保護者アンケート		
	項目	各通信・オープンスクール・ホームページなどで情報を提供したり、保護者からの相談を受けたりすることができる開かれた学校づくりに努めたか	児童アンケート ホームページ	B	○学校、学年、学級だよりを通じて、学校の様子を伝えていくことが保護者・地域の方の理解につながるので、情報発信に努め、保護者・地域とのよりよい関係づくりに努める。その一方で写真や名前などの公開を望まない家庭も多く、内容の工夫が必要である。 ○連絡メールを活用し、細やかな情報の発信をすることができた。 ○ホームページを定期的に更新することで、更なる開かれた学校づくりをめざす。
	指標	忘れ物をせず、準備物がそろう	保護者アンケート		
	項目	学びの機会を充実するとともに、家庭と連携して学習習慣を身につけるように工夫したか	児童アンケート 個別面談	B	○家庭学習の方法・量・内容などを吟味した上で、児童が主体的に家庭学習を行えるように学級活動などを通して指導し、全職員共通理解のもと、家庭での学習習慣を確立させ学力向上をめざす。 ○タブレット端末を活用し、意欲的に家庭学習に取り組める工夫をする。
	指標	家庭学習を家庭でこなし、きちんと提出している	保護者アンケート		
② 確かな学力	項目	児童の実態に応じた学習課題を設定し、意欲を持って、自ら学び、自ら考える力を育成するように努めたか	児童アンケート 自主学習	A	○感染対策を行いながら、できる限り児童同士の関わりを全教科・領域において積極的に図り、児童が互いに支え合い、認め合い、分からないことが分からないと伝えられるような主体的・対話的な学びの形へと近づけるよう心がける。 ○全員の児童が学習内容を理解できるようにするためにも、ICT機器や児童生徒支援教員を活用するなど、個別の対応を増やし、自信をもたせる。
	指標	学校の勉強が楽しく分かりやすいと感じている	保護者アンケート		
	項目	基礎・基本的な内容を明確にし、評価の基準を定め、指導方法を工夫改善して理解の徹底を図ったか	児童アンケート 学力テスト等	B	○授業のめあてとまとめを児童に確実に提示し、学習の中身を一人一人の児童に把握させた上で授業を展開していく。また、学習理解が学習意欲向上につながるので、まず、児童の実態を把握し、児童の興味・関心に合わせた教材を工夫し、スモールステップで達成感を味わわせながら意欲的に学習に取り組めるようにする。
	指標	学習内容を目当てに沿ってまとめたり発表したりすることができる	保護者アンケート		
	項目	家庭学習の定着及び充実を図ることができたか	児童アンケート	B	○家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣を身につけることの大切さについて、児童・保護者ともに丁寧に働きかける必要がある。 ○自主学習を推奨し、自己の課題をつかみ、解決策を探り、自分に合ったよりよい家庭学習の仕方を自己決定するなど、家庭学習について考える機会を設ける。
	指標	学年相応の漢字・計算を確実にこなすことができている	保護者アンケート		
③ 健やかな体	項目	「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、子ども達に声かけ等の働きかけをすることができたか	児童アンケート 学年通信・保健だよ	B	○生活実態アンケートや早寝・早起き・朝ごはん運動等を継続活用し児童の実態調査を行うとともに、養護教諭とも連携しながら保健の授業や特別活動等の時間を活用し、指導を行うようにするとともに、保健だよりを通して保護者にも働きかけをしていく必要がある。
	指標	「早寝・早起き・朝ごはん運動」の目標を設定し、守っている	保護者アンケート		
	項目	望ましい食習慣を養う一助となるよう、給食の時間の充実を図ることができたか	児童アンケート 保護者アンケート	B	○児童一人一人が食べられる量を設定し完食できることをめざし、学級でルールを定めたり食の意味を保健・特別活動等において指導したりすることで、苦手なメニューを少なくしていけるようになる。家庭へも改善することの意識を訴えながら、体力づくり、身体づくりに意識が向かうようにする必要がある。
	指標	落ち着いた雰囲気でご飯を食べている(準備・片づけ含む)			
	項目	一人一人の体力・運動能力の向上を目指し、外遊びを奨励したり、体育の時間の充実を図ることができたか	児童アンケート 個別の指導計画	B	○学年が上がるに従って低い数値となる傾向がある。良い気候の時は業間休みか昼休みのどちらかで必ず外遊びをすることを徹底できるよう、学年学級での声かけを行う。 ○新体力テストの結果を踏まえ、体育の時間の指導法を改善する。
	指標	外で元気に遊んでいる	保護者アンケート		

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と次年度具体的改善方法
○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動も少しずつできるようにがんばってほしい。</li> <li>・ホームページを定期更新した際は、連絡メールにて更新情報を伝えることで閲覧数が増えるのではないかと。(現時点でホームページの存在を把握していない人があるのではないかと)</li> <li>・タブレット端末を活用して簡単な作文やグラフ作成など、ソフトに触れる機会を作ることは可能なのか。</li> <li>・学校の様子を伝えていくことが保護者・地域とのよりよい関係づくりは大変必要であり、今後も継続に努めてほしい。</li> <li>・民生委員さんが地区懇談会がないことで、地域の子供達や保護者の方とのつながりができずと嘆いている。地区懇談会の開催を希望する。</li> <li>・コロナ禍でできなかったPTA活動や地域活動への積極的な参加を進めてほしい。</li> </ul>
◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを使用した学習がとてもよい。</li> <li>・学習したことをまとめたり発表することのアンケート結果は少ないので、理解されていないのではないかと。</li> <li>・(自主学習について)自己の課題を理解させる方法については改善の余地があると感じる。教員が思う各児童の課題(特に改善すべき点)を伝えるなど、スタート案として示してもらうことは可能か。</li> <li>・コロナ禍でも学校の熱心な取り組みにより、学力の健全な向上が見受けられるが、今後は学習での話し合いやディベートを進め、子供の気持ちを聴き取ることが必要だと思う。</li> </ul>
○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」は子供達の体にとってとてもよい。しかし、難しいことでもあるので頑張ってもらってほしい。</li> <li>・コロナウイルスの影響で、子供の体力筋力の低下やけがをする頻度が高くなっているため、運動場や体育館で運動する時間を増加してみようか。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進は、保護者にも働きかけて取り組むようにしてほしい。</li> <li>・運動の好き嫌いが両極端になってきている気がする。マラソン大会も記録会的なものになり、自分の力を試すことに重点を置かれ、5、6年生での持久走の目安が1500mとのこと。ますます体力の低下につながりそうな気がするが、これは昔の考えなのか。</li> <li>・本年度は重要な学校行事が実施できてよかった。今後は、子供達の自主自立を目指す学習が増えればよいと思う。(工作・スポーツクラブ・家での手伝い)</li> </ul>

(A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観点 (実践の柱)	評価項目(学校・教師の取組)		評価資料等	達成状況	改善の方策
	評価指標及び目標値(期待される児童の姿)				
④豊かな心	項目	児童一人一人の実態を的確に捉え、全職員で共通理解して適切な指導を行うことができたか	児童アンケート 保護者アンケート	A	○教育支援委員会など各種委員会を定期的に行うことで、児童に寄り添う指導を行う。 ○スクールカウンセラーを活用し、相談活動をさらに充実する。
	指標	困ったことを相談することができる			
	項目	人権教育を全教育活動に位置づけ、差別や偏見を解消するため実践力を培うよう努めたか	児童アンケート 保護者アンケート	A	○道徳の授業や特別活動の充実によって、多様な人との関わりを通して人権感覚の育成に努める。 ○日々新たな人権問題が出てくる中で、その都度、職員研修を行い、人権に対する感覚を共有していく。
	指標	友達の良さががんばりを見つけ、広めようとしている			
	項目	全ての教育活動の中で道徳性を培うように配慮し、道徳的实践力を育成するように努めたか	児童アンケート 保護者アンケート	A	○道徳科の授業改善、授業研修の機会をもち、教職員の指導力向上を図る。 ○児童の実態を把握して適切な資料を選定し、道徳をはじめ各教科で学んだことを生活の中で実践できるようにする。
	指標	道徳の時間で学んだ価値を、生活の中でいかそうとしている			
⑤生徒指導	項目	児童の実態を的確に把握し、生徒指導上の問題行動等を未然に防ぐよう働きかけるとともに、問題行動発生時には、適切に対応できたか	児童アンケート 個別面談 保護者アンケート	A	○学校のきまりや約束など、生活指導委員会を中心にその時期に応じた内容を話し合い、全職員共通理解のもと継続して指導にあたる。 ○いじめを解決したあとも、児童や保護者に3ヶ月後を目途に必ず様子を確認する。
	指標	きまりを守り、正しい生活を心がけている			
	項目	不登校に係る諸問題について、未然防止、早期発見、早期対応するとともに、早期解消に向け、保護者等との連絡を密にしながら、計画的に支援・指導ができたか	児童アンケート 保護者アンケート 学校生活アンケート	A	○いじめアンケートの結果をもとに、未然防止の観点から小さな案件もいじめと捉え、早期対応する。 ○不登校児童の保護者との連絡を密にし、支援をさらに充実させる。
	指標	困っている友達に関わろうとしている			
⑥児童をとりまく環境の整備	項目	危険箇所、危険物の除去・改修等に心がけ、清潔で衛生的な環境整備に努めたか	児童アンケート 保護者アンケート	B	○毎月の安全点検を教職員が分担して行い、児童にとって危険な箇所を速やかに修繕できるように来年度も継続して行う。 ○生活目標を毎月設定し、なぜ守ることが必要なのか各学年の実態に合わせて考えられるようにする。
	指標	生活目標をきちんと守って生活している			
	項目	教育活動を充実させるための教育的環境の整備に配慮し、研修内容を実践に活かし取り組んだか	児童アンケート 保護者アンケート	A	○生活指導委員会を中心に「無言清掃」の継続的な取組を続けており、廊下歩行、挨拶、トイレのスリッパ、言葉遣いなど、引き続き教職員が共通理解して指導していく必要がある。昨年度からの課題になっている挨拶については、教員・児童ともに意識して取り組む。
	指標	掃除をすることの意義を理解し、美しい環境を保っている			
	項目	友道を尊重した呼び方をし、相手への嘲笑や侮辱、厳しい非難の言葉を解消するよう指導できたか	児童アンケート 保護者アンケート	B	○友道を大切にされた呼び方をしている児童がほとんどであるが、一部には正しく呼ぶことができない児童もいる。よい習慣を定着できるように努め、引き続き、教職員が共通理解して指導していく必要がある。 ○全職員が共通理解のもと、休み時間等も人権意識を高くもち、指導にあたる。
指標	友道を大切にされた呼び方をしている				

【自己評価における特記事項】

※達成状況の評価は、下記のA・B・C・Dで自己点検を行い、ポイントに換算し、教職員数で平均している。

A:達成した…4ポイント B:ほぼ達成した…3ポイント C:あまり達成できなかった…2ポイント D:達成できなかった…1ポイント

※職務内容が異なることから、評価項目全て当てはまるとは限らない。また、最終的に「児童アンケート」「保護者アンケート」を考慮した上で、達成状況の評価を決定している。

※今年度は、コロナの影響があったものの、これまで通りの学習活動や行事を少しずつ取り戻すことができたため、数値が上がった項目があった。

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切ではない ×:適切ではない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と次年度具体的な改善方法
◎	○	・児童とPTAに対するSNSに関する研修をさらに推進し、情報の誤った使い方がないようにしていく。 ・人権問題はその都度職員研修を行い、共有していくことは必要である。 ・一人の職員で抱え込むことなく、全職員共通理解のもと、指導を行うことができれば、小さな気付きがたくさん集まり、よい方向へ道筋ができていくと思う。
◎	○	・いじめや不登校がないよう子供達の様子に気をつけ、困ったことがあれば相談しやすい学級運営に努めてほしい。 ・塩屋小学校の先生は児童間のトラブルやいじめに対してとても対応が早くて感心している。また、上記の事象があった時には対象家庭に随時連絡をしてくれるので安心できる。 ・いじめ、不登校の問題は、未然防止の観点から早期対応に努めてほしい。 ・小学校時代の小さな出来事とその後不登校やひきこもりのきっかけになっていることが多い。そのために、小学校の間の不登校を少しでもなくせるよう地域の方と連携をとってもよいと思う。先生の負担が大きすぎる。
◎	◎	・地区懇談会もなかなかできないと聞いている。話し合いがもっとできるようになればと思う。 ・子供達が成長し社会人になった時に、やはり挨拶や礼儀等は必要になるので、その教育もしっかりと行ってほしい。自分から挨拶できない子供には、大人から挨拶することが重要と考える。 ・校内の安全点検を教職員が分担して速やかに修繕は継続してほしい。 ・知らない人には関わらないとなっている現在では、地域の人との挨拶もままならない状況でこれがよいのか悪いのか。友道を大切にされた呼び方とは？苗字をさん付けで呼ぶことなのか？ ・児童が守るべき生活習慣が身に付けられるようさらに進めてほしい。高学年・低学年の立場や役割について、さらに指導を進めてほしい。

【項目以外の点で次年度の課題や具体的な改善方法】

○学校行事やPTA活動を可能な限り実施し、保護者・地域との連携を意識して教育活動にあたる。

○学習のまとめ活動を充実させ、様々な形で地域に発信できるようにする。

○児童が自分自身に対して肯定的に評価ができるよう、自尊感情の高揚を図る。

○ICT機器(タブレット端末)を活用して、基礎的、基本的な知識・技能を習得させながら思考力・判断力・表現力などを高め、主体的に仲間と協働して問題解決に取り組めるようにする。